

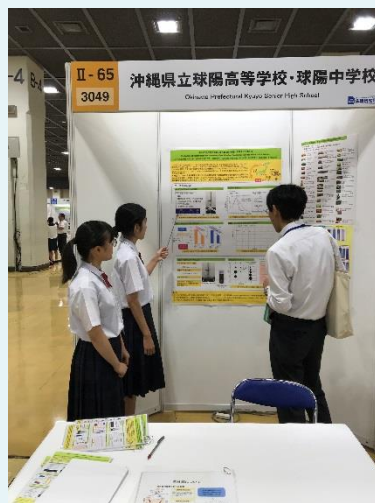


偉人の言葉

よく言うことなんだけど、非常に楽観的な人が科学に向いています。色々難しいことがあっても簡単に滅入らない人、諦めない人、それからプライオリティがしっかりしていること。これは重要です。
利根川進(分子生物学者)

スーパーサイエンスハイスクールSSH生徒研究発表会に出場！！ 生徒投票賞を受賞しました！！

平成30年8月8日(水曜日)、9日(木曜日)に平成30年度スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会を神戸国際展示場(神戸市中央区)が開催されました。参加した生徒は、2年1組の石原妃奈さん、2年3組の仲尾優希さん、2年4組の大濱彩香さんです。指導された先生は、球陽高校理科教諭の玉寄江梨香先生です。スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会は、文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が高校生等が日頃の研究成果を発表する機会を提供し、生徒の科学技術に対する興味・関心を一層喚起するとともに、SSHの成果を広く普及することを目的とし、全国のSSH指定校等生徒による研究発表会を平成16年度より開催しているものです。そこで、「ベニイモの皮に含まれる紫外線吸収物質の有効性とその活用」が、生徒投票賞(参加校生徒による相互評価)(国内10校、海外招へい校5校)を受賞することができました。この研究は、ベニイモに含まれている無色の紫外線吸収物質と同じ物質を見つけるため、他の沖縄産植物の探索を行ったもので、科学上達Vol.8で日本環境化学会主催の第27回環境化学討論会で表彰されたものです。



参加した生徒からのメッセージ

2-3 仲尾 優希さん

研究をしていくうえで、部長と協力してサンプルを集めたり、新規の紫外線吸収物が見つかった時はすごく嬉しかったです！また、大会に参加し自分達の研究を評価してくれたのが嬉しかったです。苦しかったのは、サンプルが多すぎて実験が大変だったことです。今後、私たちが受け継いできたこの研究を、後輩たちが続けていってほしいです！

2-1 石原 妃奈さん

私がおこの研究の中で大変だったことは、実験データをまとめ、考察をすることです。また、多くの沖縄産植物を調べることが大変でした。研究していくうちに結果が得ることができて楽しかったです。今回の研究発表の経験も、次に活かしていきたいです。

2-4 大濱 彩佳さん

私達は沖縄産植物 41種類を対象にし、それらを葉・茎・根などの部分別に調べたので、数が多いと時間がかかり、大変でした。ですが、良い結果が得られたときは嬉しかったし、そこから考察していくのも楽しかったです。今回の発表会は、自分達の研究を伝えられ、アドバイスももらったので、とても良い経験になりました。